

日本基督（きりすと）教団神戸教会 花隈町



西日本最初のプロテスタント教会として設立した。神戸におけるプロテスタントの布教は、カトリックより少し遅れ、1870（明治3）年に始まる。この時、アメリカン・ボード・ミッションの宣教師グリーンが神戸にやって来て布教を開始した。彼は二年後、居留地の48番地にユニオン・チャーチを設立する（神戸ユニオン教会の項参照）。1873（明治6）年に明治政府がキリスト教禁令を解禁すると、グリーンは元町通5丁目にキリスト教関係の書物を扱う書店を開き、そこで布教のための講義を行なった。なおその講義に、旧三田藩主九鬼隆義が夫人と子供を連れて出席していたのは、一般の人々の目を引いた。翌年、この講義所は摂津第一公会となり、その後、1878（明治11）年に北長狭通に移り、1888（明治21）年12月、現在地に移転した。今の会堂は1932（昭和7）年に建てられたもので、戦時中はここに神戸防衛司令部が置かれた。

場所：神戸市中央区花隈町 9-16